

基本 目標 2

安全

もっと、暮らしに安全・安心を

頻発・激甚化する気象災害、切迫する巨大災害への対応など、「災害に強い県土づくり」とともに、「安心して生活・移動できる環境づくり」に取り組みます。

また、県民の暮らしや社会経済活動を支える「社会資本の戦略的な維持管理・更新」を推進します。

政策 3 災害に強い県土づくり

施策 1 災害時の避難のサポート 【予算額】 772,228 千円※

施策 2 災害防止対策 【予算額】 10,600,389 千円※

施策 3 災害時にも機能する社会資本・体制整備 【予算額】 14,463,337 千円※

施策 4 災害時の孤立防止対策 【予算額】 4,989,235 千円※

政策 4 安心して生活・移動できる環境づくり

施策 1 交通事故防止対策 【予算額】 5,329,663 千円※

施策 2 バリアフリー推進 【予算額】 6,869,690 千円※

施策 3 中核的医療施設へのアクセス向上 【予算額】 17,553,010 千円※

政策 5 社会資本の戦略的な維持管理・更新

施策 1 社会資本の長寿命化対策 【予算額】 11,851,978 千円※

施策 2 効率的な社会資本の維持管理 【予算額】 8,011,613 千円※

※施策ごとの予算のため重複する場合があります。

災害に強い「安全」な県土づくりを進めるとともに、災害時の被害を最小限にとどめるための備えを万全にし、県民の命と暮らしを守ります。

施策 1

災害時の避難のサポート

【予算額】

772, 228 千円

(1) 水害や土砂災害による危険な場所を周知

水害や土砂災害による危険な場所を周知し、市町村の避難計画作成を支援します。

洪水浸水想定区域図

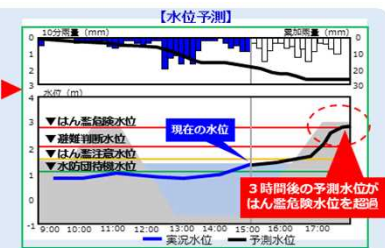
土砂災害警戒区域等



(2) 県内全域の浸水予測システム開発の推進

県管理全428河川の浸水予測システムを構築し、市町村に情報提供を行い、住民避難に役立てます。

浸水予測システムのイメージ



(3) 「河川氾濫に関する群馬県減災対策協議会」における取組

減災目標を共有し、各機関の取組方針を定め、進捗状況のフォローアップを行います。

(4) 地域特性を踏まえた避難支援の取組

複数県及び市町村に跨る広域避難について、避難方策を検討します。

《検討・実施項目》

ハザードマップの見直し支援

水害対応タイムラインの作成

河川監視カメラの整備と画像配信

「自ら逃げる」タイムラインの作成

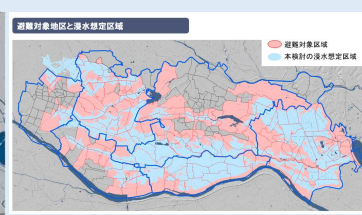
重要水防箇所の見直しによる監視強化

洪水を安全に流下させる対策(堤防整備等)

PTを活用した洪水避難シミュレーション結果



広域避難検討地域



(5) 防災力を高める人材育成

住民の意思で適切な避難ができるよう、防災意識向上や知識習得に向けた取組を進めます。

(6) 要配慮者利用施設への避難支援

自力避難が困難な方の円滑な避難に向け、市町村と連携し避難計画策定や避難訓練実施を支援します。

防災講演会



土石流を想定した避難訓練(高崎市)



特別養護老人ホームでの図上訓練の様子

(7) 円滑な避難行動を支援する防災情報の発信

市町村の避難勧告発令の判断や住民の「自ら逃げる」避難行動を支援するため、わかりやすい防災情報の提供など「住民目線のソフト対策」を推進します。

群馬県水位雨量情報システム



河川監視カメラ画像



土砂災害警戒情報提供システム



簡易型河川監視カメラ画像



(8) 火山噴火に対する住民避難の支援

噴火時における住民の円滑な避難をサポートするためのソフト対策に取り組みます。

●水害や土砂災害による危険な場所を周知

【河川の水位周知区間追加】

住民への水害リスクの更なる周知を目指し、水位を住民へ知らせる区間の追加検討を実施します。

【土砂災害計画区域等の見直し・公表】

13市町村で土砂災害警戒区域等の見直しのための基礎調査を実施し、結果を随時公表します。

●県内全域の浸水予測システムの構築に着手

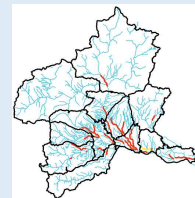
気象庁降雨短時間予報を取り込み、県管理河川における出水時の水位状況や、氾濫した際に想定される浸水範囲の予測をリアルタイムで行うことが可能な「浸水予測システム」開発を推進し、市町村が行う避難勧告等の判断に資する様々な支援情報を提供し、防災・減災対策に役立てます。

(令和3年度完成予定)

現在

- ・洪水予報河川 1河川
- ・水位周知河川 19河川 が指定済

今後3年間で10河川を追加予定



防災情報の公表（「県土整備部防災情報」より）



●「河川氾濫に関する群馬県減災対策協議会」における取組

水害リスク想定マップに基づき、主要20河川を含む428河川全ての県管理河川について減災に関する取組方針を決定します。また、住民が「自ら逃げる」避難行動を取るためのマイタイムラインの構築など、引き続き防災・減災対策に取り組めます。

●地域特性を踏まえた避難支援の取組

洪水時に複数市町村や県境を跨がる避難が必要な広域避難のモデル地区を選定し、広域避難の課題を整理し、対応方策を検討します。

●防災力を高める人材育成

【洪水対応演習、合同点検の実施】

洪水時の情報伝達を確実にを行うため、関係機関による洪水対応演習を実施します。また、洪水時に地域住民が自ら危険を察知し自主的に避難できるよう、地域住民と関係機関が参加する重要水防箇所の合同点検を実施します。

【住民が主体となった防災マップの作成・避難訓練の実施支援】

市町村へ土砂災害・防災等の専門家を派遣し、住民が主体となって土砂災害に係る防災マップの作成及び避難訓練等を行うことで、地域の防災力向上を支援します。

●要配慮者利用施設への避難支援

【土砂災害警戒区域】

土砂災害警戒区域内の要配慮者利用施設を対象に、土砂災害に係る避難確保計画の策定と避難訓練の実施を支援します。

【洪水浸水想定区域】

水害リスク想定マップを基に、主要20河川以外の河川にも避難確保計画作成の取組が拡大するよう呼びかけるとともに、市町村と連携して避難確保計画の作成支援を行います。

●円滑な避難行動を支援する防災情報の発信

【危機管理型水位計の設置】

水位計が未設置の浸水の恐れがある中小河川について、避難判断のための危機管理型水位計の設置を進めます。

令和元年度は83箇所を設置し、令和2年度までに全287箇所の設置を完了します。

【簡易型河川監視カメラの設置】

水位計と合わせ、洪水時に水位状況を画像として情報提供することで、速やかな避難行動を促すため、簡易型河川監視カメラの設置を進めます。

令和2年度までに全89箇所を設置完了します。



(1) 水害対策

近年被害が発生した地域、人口・資産が集中する地域等において、河川改修や調整池整備、堤防強化等を推進します。



(2) 土砂災害対策

土砂災害による被害を軽減させる砂防堰堤、がけ崩れ防止施設等の整備および堆積土除去を推進します。



● 水害対策

【河川改修】

人家等の水害による被害を軽減するために、川幅を拡げたり、堤防をつくります。

- ・一級河川 寺沢川（前橋市）
- ・一級河川 利根川（伊勢崎市～玉村町）
- ・一級河川 井野川（高崎市）
- ・一級河川 休泊川（大泉町～太田市） ほか



一級河川寺沢川 施工状況

【調節池整備】

人家5,606戸の水害による被害を軽減するために、洪水を貯留する調節池をつくります。

- ・一級河川 石田川（太田市）

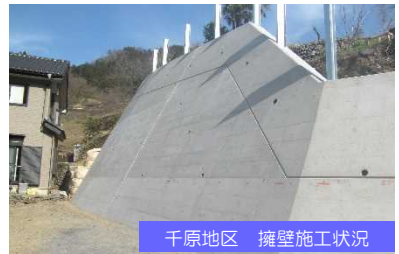


一級河川井野川 施工状況

【堤防強化】

人家等の水害による被害を軽減するために、調査により脆弱であると判断された堤防を強化します。

- ・一級河川 烏川（高崎市） ほか



千原地区 擁壁施工状況

● 土砂災害対策

【土石流対策】

人家、高齢者施設等の土砂災害による被害を軽減するために、砂防えん堤をつくります。

- ・天神沢（藤岡市）
- ・大沢川（東吾妻町） ほか



西久方町一丁目1地区 崩壊土砂防護柵施工状況

【がけ崩れ対策】

人家、保育園、避難所(小学校)等の土砂災害による被害を軽減するために、擁壁や防護柵をつくります。

- ・千原地区（南牧村）
- ・西久方町一丁目1地区（桐生市） ほか

今年度のトピックス

- ・女塩淵沢 土石流対策 特定緊急事業（嬭恋村） R2年度着手予定
- ・内匠地区 地すべり対策 特定緊急事業（富岡市） R2年度着手予定

事業の効果



一級河川 休泊川 河川改修

～整備前～

大雨の時は周辺道路の高さまで水位が達します。



平成27年7月（台風11号）

～整備後～

水があふれないよう川幅を広げています。



令和2年2月（工事中）

女塩淵沢 土石流対策

～整備前～

豪雨等により、土石流が発生する危険があります。



令和元年10月（台風第19号）

～整備後～

砂防えん堤により、土石流を受け止めます。



事業後の状況（イメージ）

施策3

災害時にも機能する社会資本・体制整備

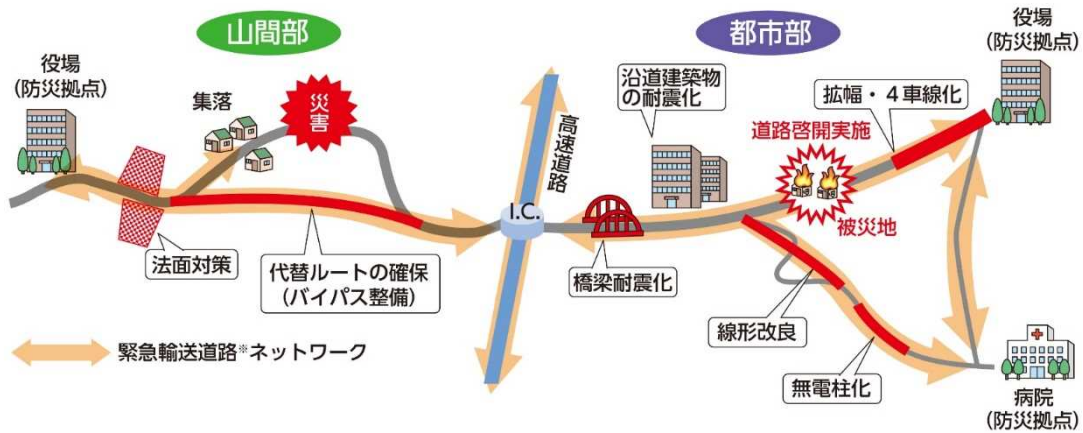
【予算額】

14,463,337 千円



(1) 緊急輸送道路ネットワークに基づく災害に強い道路整備・管理体制の構築

大規模な災害に対して円滑な避難や迅速な救命救助、復旧復興を可能にするため、緊急輸送道路ネットワークに基づく災害に強い道路整備を推進します。



無電柱化の例 (国道254号：富岡市)

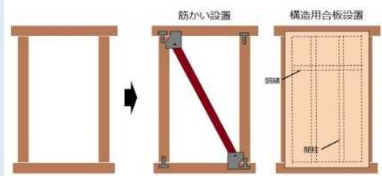


橋梁耐震化の例 (国道254号11号橋：下仁田町)



(2) 災害に強い住まいづくり

市町村と協調して、耐震改修費用の一部を補助することにより、住宅の耐震化を促進します。



木造住宅耐震化の例



耐震改修費用の一部を補助することにより、耐震診断が義務づけられた建築物（ホテル・旅館、百貨店・物販店）の耐震化を促進します。

大規模建築物耐震化の例



(3) 災害に強い都市づくり

土地区画整理事業などの施行により、道路、公園等の都市基盤を整備し、避難・延焼遮断空間を確保するとともに、倒壊・焼失の危険性が高い老朽建築物の更新を促進することで、防災機能の向上を図ります。

土地区画整理



(4) 災害発生に備えた人的支援体制整備

大規模災害時に、県内外の被災地に適時適切に職員を派遣できる体制を整備するとともに、災害派遣業務に必要な研修を実施し、職員のスキルアップに努めます。

研修状況 (机上模擬査定)



研修状況 (現地模擬査定)



派遣先での活動状況 (熊本地震)



● 緊急輸送道路ネットワークに基づく災害に強い道路整備・管理体制の構築

【落石対策】

地震や豪雨時の落石等による道路寸断を防止するために、斜面の補強や道路を崖から離す整備を行います。

- ・ 国道353号 村上工区（洪川市）
- ・ 国道120号 菅沼工区（片品村）

【無電柱化】

地震時の電柱倒壊による道路寸断を防止するために、電線類を地中化します。

- ・ 国道354号 小桑原工区（館林市）
- ・ 県道一本木平小井戸安中線 安中工区（安中市）
- ・ 県道前橋館林線 連取町2期工区（伊勢崎市）
- ・ 県道高崎渋川線 住吉町工区（高崎市）
- ・ （都）中央通り線（館林市）

【橋梁耐震化】

地震時の橋の破損による道路寸断を防止するために、橋の部材を補強します。

- ・ 県道下仁田安中倉渕線 花の木橋（安中市）
- ・ 県道伊勢崎本庄線 広瀬大橋（伊勢崎市）
- ・ 県道高崎神流秩父線 城南大橋（高崎市）

【沿道建築物の耐震化】

地震時の建築物の倒壊による道路閉塞を防止するため、緊急輸送道路沿道建築物について、耐震診断を義務付けて耐震化を促進します。

- ・ 高速道路、直轄国道、東毛広域幹線道路



国道353号 村上工区 施工状況



国道120号 菅沼工区 施工状況



県道高崎神流秩父線 城南大橋 施工状況



県道前橋館林線 連取町2期工区 施工状況

● 災害に強い住まいづくり

【木造住宅の耐震化】

市町村と協調して、個人の木造住宅の耐震改修又は耐震シェルター設置に対して補助します。

【大規模建築物の耐震化】

耐震診断が義務付けられた建築物（ホテル・旅館、百貨店・物販店）の耐震化に対して、費用の一部を補助します。

● 災害に強い都市づくり

【土地区画整理事業の推進】

伊勢崎駅周辺第一地区（伊勢崎市）
沼田市中心市街地地区（沼田市） ほか

● 災害発生に備えた人的支援体制整備

令和2年度「災害派遣チーム」を編成し、緊急時に備えるとともに、災害派遣業務に必要なスキルを習得するための「災害特別研修」を開催します。

事業の効果



県道高崎渋川線 住吉町工区 電線共同溝

～整備前～

地震時に電柱が倒れ、道路が寸断する恐れがあります。



～整備後～

電柱がなくなることで、安全な通行空間を確保します。



イメージ

県道伊勢崎本庄線 広瀬大橋 橋梁耐震化

～整備前～

地震時に橋が破損し、道路が寸断する恐れがあります。



施工前状況

～整備後～

橋を補強し、緊急時の安全な通行空間を確保します。



橋脚耐震補強後

(1) 道路防災対策

中山間地域の生活幹線道路が土砂崩壊などにより寸断し、長期にわたり集落が孤立しないよう、道路防災対策を実施します。

落石対策の例（県道会場鬼石線：藤岡市）



対策前



対策後

(2) 暮らしを支える道路整備

中山間地の拠点や集落を結び、住民の暮らしを支える安全な道路整備に取り組みます。

現道拡幅の例（県道上藤生大州線：桐生市）



対策前



対策後

● 道路防災対策

【道路寸断防止のための落石対策の推進】

地震や豪雨時の落石等による道路寸断を防止するために、防護柵等を設置します。

- ・ 国道401号 片品工区（片品村）

国道401号 片品工区



現在の状況

●暮らしを支える道路整備

【安全な通行空間確保のための現道拡幅】

通行車両の安全な通行空間を確保するために、車と車がすれ違いうことが困難な区間において、道路の拡幅を行います。

- ・ 県道上発知材木町線 透門橋工区（沼田市）
- ・ 県道下仁田臼田線 砥沢工区（南牧村）
- ・ 県道上藤生大州線 梅田工区（桐生市）

県道上発知材木町線 透門橋工区



現在の状況

県道下仁田臼田線 砥沢工区



現在の状況

県道上藤生大州線 梅田工区



現在の状況

○今年度のトピックス

県道上発知材木町線 透門橋工区（沼田市）

R2年度完成予定

事業の効果



国道401号 片品工区 落石対策

～整備前～

斜面に転石や浮石があり、危険な状態。



危険な斜面

～整備後～

転石固定や斜面の補強により安全な通行空間を確保します。



対策後(完成区間)

県道上発知材木町線 透門橋工区 現道拡幅

～整備前～

道路幅が狭く、カーブが連続し、すれ違いが困難な状況。



道路幅狭小・線形不良

～整備後～

対向車と安全なすれ違いができる道路になります。



道路幅拡大・カーブ減少

子どもや高齢者、障害者など、誰もが安全で安心して暮らせるよう、交通事故の防止に向けた環境整備を進めるとともに、バリアフリーの推進や、安心して医療を受けられる環境づくりに取り組みます。

施策 1

交通事故防止対策

【予算額】 5,329,663 千円

(1) 子どもたちが安心して通学できる環境の整備

学校や警察等の関係機関や地域住民と連携し、通学路等の点検や点検結果を踏まえた歩道整備を推進します。



(2) 交通死亡事故対策

車両の速度抑制対策や、夜間歩行中の視認性向上、交通安全教育を実施します。



(3) 交通人身事故対策（自動車事故）

危険性が高い交差点付近や生活道路の安全性向上を図るため、事故多発箇所や危険箇所の改善、生活道路への通過交通の流入抑制に取り組みます。



(4) 交通人身事故対策（自転車事故）

安全な自転車通行空間を確保するため、矢羽根型路面表示の設置や自転車通行帯の確保、無電柱化等を実施します。



●子どもたちが安心して通学できる環境の整備

【歩道整備】

以下の工区において、児童や生徒が安心して通学できるよう歩道を拡げます。

- ・ 県道藤岡大胡線 本郷工区（藤岡市）
- ・ 県道平川横塚線 谷地工区（川場村）
- ・ 県道駒形柴町線 宮古工区（伊勢崎市）
- ・ 県道前橋伊香保線 大久保工区（吉岡町）
- ・ （都）赤城山線（前橋市）



完成後



施工状況



完成後



渋滞状況



計画イメージ



ヘルメットの着用推進

●交通死亡事故対策

【速度抑制対策】

車両の速度を抑制するため、車の通行幅を狭める「狭さく」を設置します。

- ・ 県道長久保郷原線 原市工区（安中市）

●交通人身事故対策（自動車事故）

【交差点付近における交通事故防止対策】

交差点において、横断歩行者と車両の事故の注意喚起を促す看板を設置します。

- ・ 県道前橋高崎線 事故対策（高崎市）

交差点付近において、追突事故防止のため「路面標示とタップライン」を設置します。

- ・ 県道渋川東吾妻線 事故対策（東吾妻町）
- ・ 国道120号 事故対策（片品村）

【交差点改良】

交差点付近での事故を抑制するため、交差点の形状を改善します。

- ・ 県道前橋伊香保線 伊香保交差点 交差点改良（渋川市）
- ・ 県道渋川東吾妻線 槻木交差点 交差点改良（東吾妻町）
- ・ 国道120号 大原交差点 交差点改良（沼田市）

●交通人身事故対策（自転車事故）

【自転車通行空間の確保】

中高生の自転車通学経路において、安全に自転車で通学できるよう、自転車専用通行帯や矢羽根型路面表示を整備します。

- ・ 県道古戸館林線（館林市）

【自転車講習会の開催】

高校生の安全な自転車利用と自転車運転のマナー向上のための、スタントマン等による実演を取り入れたスクエアード・ストレイト方式による自転車交通安全教室を開催します。

【群馬県交通安全条例の改正】

県民誰もが自転車を安心して利用できる環境をつくるため、群馬県交通安全条例を改正します。

- ・ 自転車保険の加入義務化
- ・ 自転車用ヘルメット着用の努力義務化

○今年度のトピックス

【R2年度完成予定】

- ・ 県道前橋西久保線 歩道整備（前橋市）
- ・ 県道長久保郷原線 歩道整備（安中市）
- ・ 県道前橋安中富岡線 歩道整備（富岡市）
- ・ 国道353号 交差点改良（渋川市）

(1) 移動を支援するバリアフリー化

誰もが安全で安心して移動できるよう、鉄道駅、路線バスや歩道等のバリアフリー化を推進します。

【ノンステップバス導入】
乗降口の段差がない乗りやすいバスの導入を促進します



【UDタクシー導入】
インバウンドや車イスにも対応するユニバーサルデザインタクシーの導入を促進します。



【鉄道駅のバリアフリー化】
1日の平均利用者数が、3,000人以上の鉄道駅のバリアフリー化を促進します。



【歩道のバリアフリー化】
歩道と車道との段差をなくし、視覚障害者が車道との区別が認識できるように突起を設置します。



(2) 高齢者が居住する住宅のバリアフリー化

高齢者が安全で安心して暮らせる住まいを確保できるよう、住宅のバリアフリー化を支援します。



令和2年度 主要事業の概要

● 移動を支援するバリアフリー化

【ノンステップバスの導入】

市町村やバス会社など、ノンステップバスの車両購入(7両)を支援します。

【UDタクシーの導入】

タクシー事業者のUDタクシー車両導入を支援します。

【鉄道駅のバリアフリー化】

駅利用者が安全に上り下りができるように、エレベーターやスロープを設置します。
・JR高崎線 新町駅 エレベーター設置 (高崎市)

【歩道バリアフリー化】

視覚障害者が安全に歩行できるように、歩道の段差解消を図ります。
・県道桐生岩舟線 境野工区 (桐生市)

● 高齢者が居住する住宅のバリアフリー化

【県営住宅のバリアフリー化】

広瀬第二県営住宅 (前橋市) 中居県営住宅 (高崎市)



県内の中核的医療施設へ30分でアクセスできる圏域内の人口は、約9割に到達しましたが、更なるアクセス性の向上に向け、7つの交通軸の主軸や強化路線の整備など、誰もが安心して医療を受けられる環境づくりを推進します。

中核的医療施設位置図



前橋赤十字病院



平成30年6月1日開業

前橋赤十字病院アクセス道路（整備状況）



令和2年度 主要事業の概要

前橋赤十字病院は、災害拠点病院の中心となる群馬県唯一の「**基幹災害医療センター**」に指定されています。

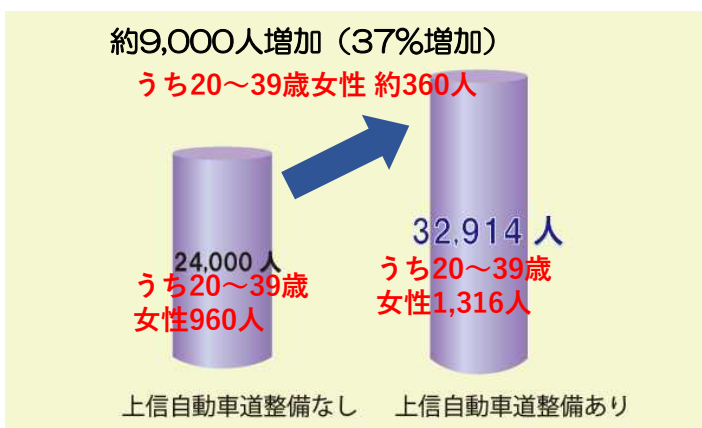
高速道路ICに直結する当バイパス道路の整備により、災害時の医療物資運搬・救護班派遣DMATなど・多数傷病者の受け入れ等の救命救急活動に大きく貢献します。

- ・ 県道前橋玉村線 朝倉工区 (前橋赤十字病院アクセス道路関連)



上信自動車道の整備により、県立小児医療センターまでの所要時間が短縮します。県立小児医療センターまで1時間で到着する範囲は、新たに長野原町の中心部などが含まれることになり、60分圏域人口が9,000人増加します。

- ・ 上信自動車道（金井バイパス、川島バイパス ほか）



厳しい財政状況の中、社会資本の老朽化や劣化を原因とする事故を防ぎ、県民の安全・安心な生活を守るとともに、メンテナンスに係るトータルコストの中長期的な縮減、平準化を図るため、社会資本の戦略的な維持管理・更新を推進します。

施策 1

社会資本の長寿命化



【予算額】

11,851,978 千円

(1) 社会資本の戦略的な維持管理・更新

社会資本を長期にわたって安全に使用し続けるために、長寿命化計画に基づく戦略的な点検・維持管理・更新を実施し、維持管理・更新費用のトータルコストの中長期的な縮減と平準化を図ります。

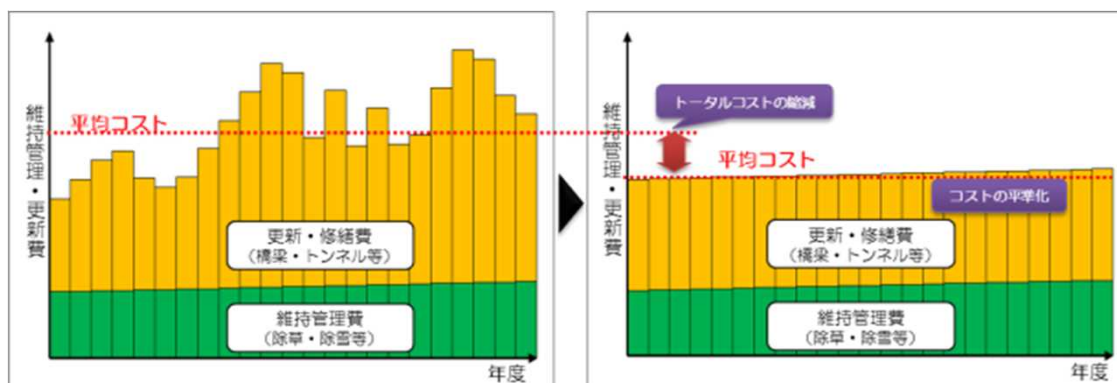
計画名称	策定年度	計画期間	対象施設	施設規模
群馬県道路施設長寿命化計画	H30 (予定)	30年間	横断歩道橋	120橋
			道路トンネル	64箇所
			舗装 (自転車道を除く)	3,100km
			道路照明	10,000灯
			自転車道橋梁	32橋
			地下歩道	22箇所
			カルバート	24基
			防雪施設	63基
			防災施設 (グラウンドアンカー工、落石防護工、落石予防工)	4,599箇所
			土工構造物 擁壁 (路側及び土留) 法面 (切土、法枠、コンクリート・モルタル吹付及び盛土)	5,658箇所
			張出歩道	380箇所
			門型標識	11箇所
			大型標識	3,373箇所
			情報板	163基
			消融雪施設	51箇所
群馬県橋梁長寿命化計画	R 1	100年間	道路橋	3,665橋
河川構造物長寿命化計画	H28	40年間	排水機場	7施設
			水門・堰等	22施設
			県営ダム	7施設
群馬県砂防関係施設長寿命化計画	H29	50年間	砂防設備 (砂防堰堤・床固・渓流保全工)	3,536施設
			地すべり防止施設	67区域
			急傾斜地崩壊防止施設	610区域
			雪崩防止施設	6箇所
都市公園長寿命化計画	H29	30年間	建築物	24施設
			遊具	10施設
下水道長寿命化計画	H23	50年間	下水道施設 (県央・奥利根)	処理場2施設ほか
	H24	50年間	下水道施設 (西邑楽・桐生)	処理場2施設ほか
群馬県営住宅長寿命化計画	H29	30年間	県営住宅	10,123戸
群馬ヘリポート長寿命化計画	H29	30年間	群馬ヘリポート	1施設

【トータルコストの縮減】

長寿命化計画に基づき、損傷がひどくなる前に、予防的な補修を計画的に実施し、施設の長寿命化を図ることで、中長期的な維持管理・更新に係るトータルコストを縮減することが可能となります。

【コストの平準化】

維持管理・更新に係る費用を計画的に投資していくため、年当たりのコストを平準化します。



● 社会資本の戦略的な維持管理・更新

戦略的な長寿命化対策のため、長寿命化計画に基づき、下記の施設の点検・維持管理更新を行います。

【道路橋】

- ・ 県道南新井前橋線 上毛大橋 (前橋市)
- ・ 県道高崎伊勢崎線 福島橋 (玉村町)
- ・ 国道462号 坂東大橋 (伊勢崎市)
- ・ 国道291号 若栗橋 (みなかみ町) ほか

【舗装】

- ・ 国道254号 下仁田工区 (下仁田町)
- ・ 県道前橋箕郷線 高崎工区 (高崎市)
- ・ 県道足利邑楽行田線 館林工区 (邑楽町)
- ・ 県道渋川東吾妻線 中之条工区 (東吾妻町) ほか

【砂防関係施設】

- ・ 鎭川支川 漆萱沢 砂防えん堤 (下仁田町)
- ・ 片品川支川 白沢川 砂防えん堤 (沼田市)
- ・ 吾妻川支川 反下川 砂防えん堤 (中之条町) ほか

【県営住宅】

- ・ 広瀬第二県営住宅 (前橋市)
- ・ 中居県営住宅 (高崎市)
- ・ 城山県営住宅 (高崎市) ほか

【河川構造物】

- ・ 一級河川 泉野川 北調節池排水機場 (板倉町)
- ・ 一級河川 大箇野川 邑楽東部第二排水機場 (板倉町)
- ・ 桐生川ダム 予備発電設備 (桐生市)
- ・ 道平川ダム 予備発電設備 (下仁田町) ほか

【下水道施設】

- ・ 県央処理区 受変電施設設備 (玉村町)
- ・ 桐生処理区 反応タンク設備 (桐生市) ほか

【公園施設】

- ・ 敷島公園 陸上競技場大型照明設備
- ・ 金山総合公園 受水槽 ほか

事業の効果



県道高崎伊勢崎 福島橋 橋梁補修

コンクリートの経年劣化により損傷が発生し、放置すると橋の健全性が低下する可能性があります。



計画的な修繕により橋の長寿命化を図り、劣化や損傷を原因とする事故を防ぎます。



広瀬第二県営住宅 住戸改善

老朽化により、居住者の安全・安心な住環境に支障がでてきました。



改修工事により、安全・安心に利用できる施設になります。



施策2

効率的な社会資本の維持管理

【予算額】 8,011,613 千円

(1) 行政が実施する維持管理

道路パトロールや河川巡視などの日常点検を実施し、社会資本の異常箇所の早期発見に努めます。



(2) 地域住民が主体となった維持管理

自治会や学校など、地域の道路や河川等の愛護活動を実施している皆さんの活動を支援し、地域活動の活性化を図ります。



(3) 民間の力を活用した維持管理

公共施設の管理に民間の資金とノウハウを活用し、県民サービスの向上を図るとともに、維持管理コストの縮減等に取り組みます。

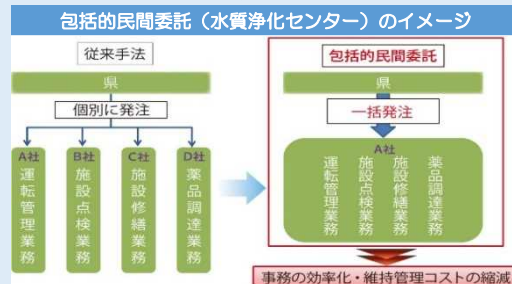
【指定管理者制度の導入】

県が管理する施設について、県が指定した民間事業者等が施設の管理主体として、公共施設の管理を代行する制度です。



【包括的民間委託の導入】

県が管理する施設の点検・修繕や運転管理などの業務を、包括的に委託することにより、受託した民間事業者が効率的に運営を行う制度です。



【Park-PFIの導入検討】

都市公園における新たなニーズに対応するため、従来の官民連携制度では困難であった、民間資金を活用した施設整備の実現に向け、「Park-PFI」の導入を検討します。



出典：国土交通省ホームページ

(4) 公営企業会計の適用

流域下水道事業においては、経営状況をより正確に把握しやすい公営企業会計を令和2年度から適用することにより安定的な県民サービスを提供します。

● 行政が実施する維持管理

道路・河川等の日常点検、道路・河川の除草や河川の堆積土除去等の年間を通じた適切な維持管理を適時適切に実施します。

● 地域住民が主体となった維持管理

河川除草等：自治会等河川草刈り作業委託事業により、自治会等338団体の除草を支援します。
道路清掃・除草：春・秋の道路愛護運動により、自治会等1,471団体の除草を支援します。

● 民間の力を活用した県管理施設の効率的な維持管理

【指定管理者制度の導入】

県立都市公園、ヘリポートで実施します。

(敷島公園・群馬の森・金山総合公園・観音山ファミリーパーク・多々良沼公園、群馬ヘリポート)

【包括的民間委託の活用】

施設の管理水準の向上、業務の効率化のため、4つの水質浄化センター（奥利根、県央、桐生、西邑楽）で包括的民間委託を活用します。

【Park-PFIの導入検討】

都市公園における新たなニーズに対応するため、従来の官民連携制度では困難であった、民間資金等を活用した施設整備の実現に向け、「Park-PFI（公募設置管理制度）」の導入を引き続き進めます。

敷島公園では、平成30年度にスターバックスコーヒージャパン(株)を事業者として選定しました。他の公園でも導入に向けた手続きを進めています。

事業効果の例



敷島公園 Park-PFIの導入（スターバックスコーヒージャパン(株)）

～導入前～

(利用者ニーズ)
公園内にゆっくり座ってくつろげる場所が欲しい、飲食できる場所が欲しい



～導入後～

民間活力を導入し、よりサービスレベルの高い利用者ニーズに合ったくつろぎの場を整備することで、敷島公園の魅力が向上し、新たな賑わいを創出します。

スターバックスコーヒー 敷島公園店

